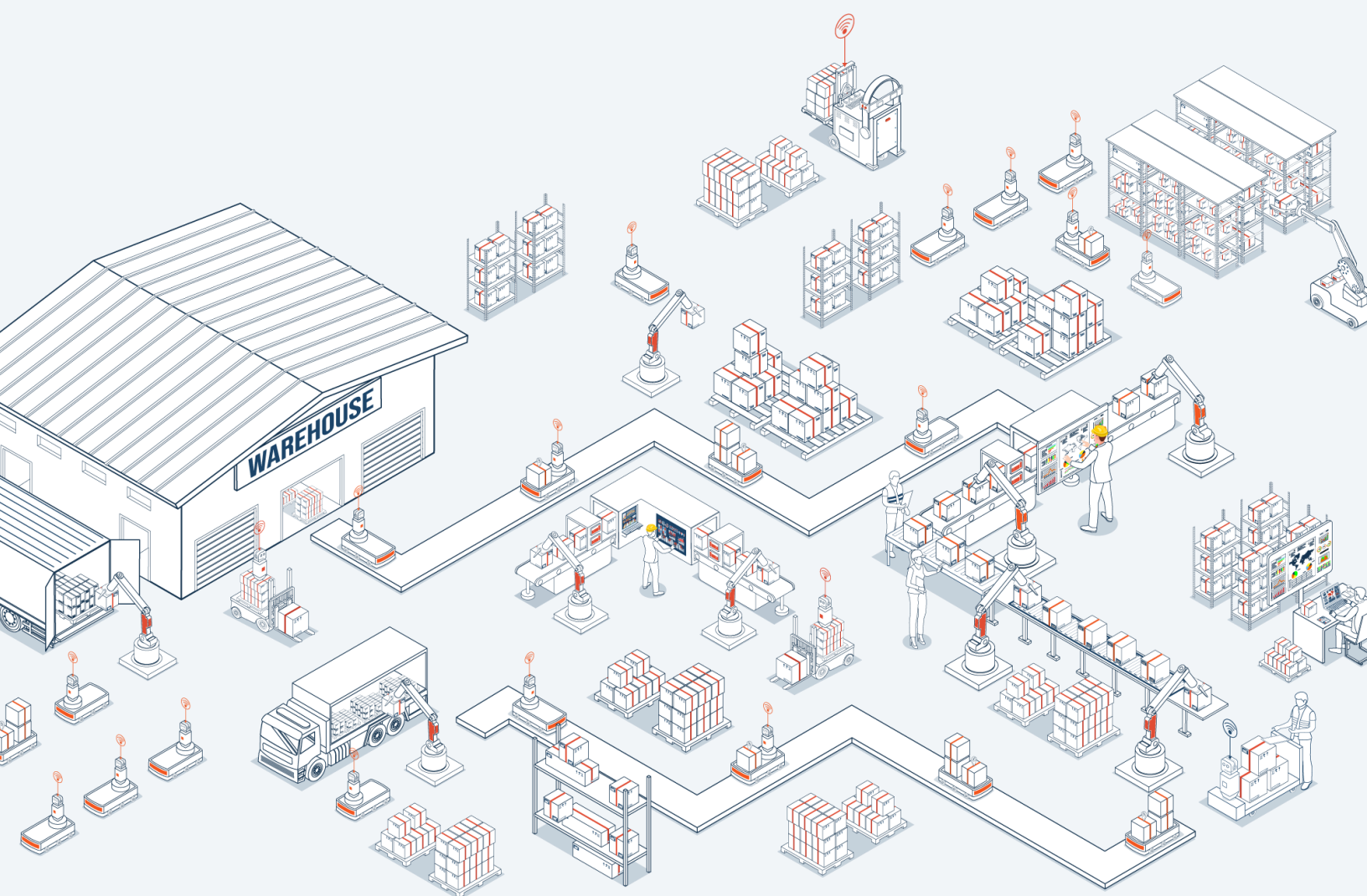




製造業×RPA

RoboTANGO 導入成功事例集



startiaraise
最先端を、人間らしく。

株式会社レゾナック様

すでに導入していたRPAに頼るのではなく、自身で扱えるRPAを導入し、定型業務の自動化、効率化のアイデア創出を実現

エレクトロニクス事業や自動車関係のモビリティ事業を中心に行っている株式会社レゾナック（以下同社）。同社では、一部の部署で既にRPAを導入していたものの、業務効率化の効果が高い業務や、複雑な内容の業務の自動化が中心であったため、石油化学事業部 大分コンビナートSCM部では、日々の細かい定型業務効率化に対応できるツールを探していた。自分たちで自動化を進められるツールの導入を検討していたところ、RoboTANGOに出会い、導入を決定。結果として細かい業務の効率化が実現したことに加え、社員が効率化について積極的にアイデアを考えるようになる効果も生まれた。

BEFORE

- DX推進のため、IT部門ですでにRPAを導入していたが、開発に専門技術が必要とするものでロボットを作成するにはIT部門に依頼が必要であった
- 自動化されるのは効率化の効果が高く複雑な内容の業務の自動化が中心のため、日々の細かい作業の自動化を実現するツールを知らず効率化に手を付けられていなかった

AFTER

- 日々、発生する細かい定型業務の自動化が実現した
- 今までできていなかった業務も自動化
- 部署にいる社員の多くが業務の効率化について考えるようになり、一部の人間に任せるのではなく、自分たちで解決しようという思考になった

すでに DX 推進のために RPA が導入されていたが
効率化の効果が大きい業務 **複雑な業務プロセス**
 が中心であったため、自部門での
「毎日のちょっとした業務」の自動化の依頼が難しい
 状況だった



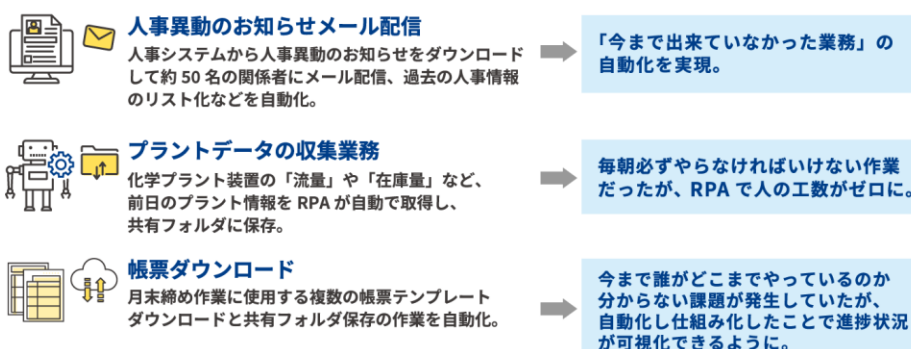
展示会で RoboTANGO を知り導入検討へ。

既存の RPA ツールや無料の RPA ツールとの比較表を作成し、

- ✓ 低価格ながら多機能であったこと
- ✓ 誰でも簡単に RPA ロボットを作成できる
- ✓ マニュアルやサポート体制が充実している

3つの点から、RoboTANGO が自部門に最適な選択肢であると判断し、導入を決定。

毎日の手間がかかるルーティン作業や、今まで実現できなかった業務の自動化を実現



単純作業の自動化による業務効率化に加え、従業員も自分たちで業務効率化について考えるようになった点が大きな効果

株式会社レゾナック
石油化学事業部 大分コンビナートSCM部

【事業内容】エレクトロニクス、モビリティ、機能材料、石油化学、基礎化学品、グラファイト、デバイスソリューション等

【設立】1939年6月

【所在地】東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング

【代表】代表取締役社長 高橋 秀仁

【WEB】<https://www.resonac.com/jp>

株式会社レゾナック様

課題

日々の細かな定型業務の自動化が急務であった

ちょっとした業務の効率化を実現するRPAツールの存在に気づけていなかった

株式会社レゾナック（以下同社）は、主にエレクトロニクス事業や自動車関連のモビリティ事業を中心に手掛けている企業である。

同社では、別部署ですでにRPAを導入していたものの、大規模向けのものであり、開発には専門的な知識や技術が必要だった。また、業務効率化の効果が高い業務や複雑な内容の業務を自動化することが中心であったため、日々のちょっとした業務の効率化を実現することが難しい状況であった。

「元々、弊社ではDXを推進する部署がRPAを導入していました。しかし、自動化したい業務があるたびに、その部門に依頼する必要がありました。また、主に業務効率化の効果が大きく、かつ複雑な業務プロセスの自動化が中心となっていました。

私が所属する石油化学事業部 大分コンビナートSCM部で実現したかったのは、日々発生する細かな定型業務の自動化でした。そこで、何とか自分たちで解決しようと考え、DXツールを探し始めることにしました。」（下田氏）

経緯

サポートの良さからRoboTANGOの導入を決定

他RPAとの比較表を作成しRoboTANGOの良さを上司にアピール

日々の定型業務を効率化するツールを探している中で、展示会に参加した際にRoboTANGOを知る。

早速トライアルをした結果、「日本製でマニュアルやヘルプセンターのサポートが充実していた点」、「他のRPAと比べ低価格かつ機能が豊富であった点」、そして「操作が簡単でプログラム知識がなくても単純作業の自動化が可能だと感じた点」からRoboTANGOの導入を決意。

「トライアルを試した結果、私たち中かでは、RoboTANGOを導入したいという結論に至りました。そのため、他部署で使われているRPAや、同時に検討していた無償版のRPAとの比較表やレポートを作成し、RoboTANGOの優位性を上司にアピールしました。

会社としては既に使っているRPAもあり、もう1つは無償で利用可能でしたが、RoboTANGOが最も高い効果を発揮できると説得し、導入に至ったのです」（下田氏）

効果

RPA導入で単純業務の自動化。さらにこれまで手が足りずにできていなかった業務ができるようになり、担当者の負担軽減も実現

RPAの導入により、単純でありながら手間がかかっていた業務の自動化を実現し、さらに、これまで手が足りずに手がけられなかった業務にも対応できるようになり、全体的な業務効率が向上。加えて、社員が効率化について積極的に考えるようになり、新たな効率化のアイデアを自ら生み出せるようになった。

（1）人事異動のお知らせメール配信

これまで、人事異動の確認するには、社員が自らWEB経由で人事システムにログインし、掲載されているExcelファイルを見に行かなければならなかった。そこでRPAを導入し、人事異動情報が更新されると自動的にExcelファイルをダウンロードし、関係者にメールで配信する仕組みを構築。

< RPA導入後 >

人事異動の情報はほぼ毎日更新されていたが、これまでは人手が足りず、メール配信を実施することができなかった。しかし、RPA導入後は、過去の人事異動情報を自動で一覧にまとめる作業や、必要な部署の人事異動情報のみを抽出する作業も自動化し、現在では約50人にメール配信を行っている。

（2）プラントデータの収集業務

製造に使う原料の流量と、原料が入っているタンクの在庫量のデータを収集する業務。従来は、毎朝7時から8時の間に前日のデータを手作業でダウンロードし、生産管理部のフォルダーに保存していた。装置は土日休みなく稼働しているため、月曜日から金曜日まで、毎日1人が10分程度かけて作業を行っていた。

< RPA導入後 >

RPA導入後は、担当者が出勤時に共有パソコンをクリックするだけで、自動的にデータ収集が行えるようになった。1日10分、月間で200分ほどかかっていた業務がほぼゼロになり、担当者の負担が大幅に軽減された。

（3）月末締め作業での帳票ダウンロード

社内オリジナルのシステムでつくっているソフトウェアを使って月末に在庫量の締めの確定をする作業。従来は5〜6種類の在庫別に帳票を作成し、ソフトウェアにログインしてテンプレートをダウンロード、次にまたログインして、指定した帳票をダウンロード、さらにまたログインして部の共有フォルダーに保存する必要があった。これを帳票の数だけ繰り返すため、月1回ではあるものの1つで5分、全体で30分程度の時間がかかっていた。

< RPA導入後 >

RPAで自動化を実現した結果、作業にかかる時間がゼロになったうえ、面倒で手間のかかる業務から担当者が解放され、精神的にも負担軽減が実現した。

現状、ロボットは3つだけが動いている状況ではあるが、できるだけ早い段階に次の2つの作業の自動化も検討している。

①営業部門が作成した翌月の販売予測情報をExcelからExcelに転記する作業

販売予測を行う製品は7種類程度あり、それぞれのExcelフォーマットが異なっている点が課題ではあるものの、できるだけ早く手を付ける予定。

②次月の生産予想の需要と供給を事前に把握してファイルに集約する作業

こちらもExcelのフォーマットやデータの並び順違いなどの課題はあるものの、毎月2〜3時間かかる作業のため、早期の対応を検討している。



ご担当者様からのメッセージ



RPAは特にルーティン作業が多い事務職の業務に向いています。また、自分たちが普段処理している日々の業務はもっとラクにできると考え、現状を改善しようという意志を持っている方には、RPA導入が非常に向いていると思います。（下田氏）

某製造業企業様

RPA導入で単純作業・面倒な作業を自動化し 90時間/月以上の工数削減！ 今後は属人化の解消や価値の高い業務に取り組んでいく

高機能プラスチックの加工事業をはじめ、多種多様な事業を手掛ける某製造業企業（以下同社）。同社では、システム間のデータ連携における作業やデータの整形作業などの単純作業に多くの時間を割かれてしまっていたため、業務の自動化をするためにRPA導入の検討を開始した。そこで、RPAを扱うのが初めての社員でも簡単に使えると感じたRoboTANGOの導入を決定し、現在は30個以上のRPAロボットを運用。多くの単純作業や手間のかかる面倒な作業の自動化を実現。さらに、従業員の残業時間削減にもつながった。

BEFORE

- コピー＆ペーストを繰り返す単純作業に時間を割かれてしまっていた
- システム間のデータ連携をすべて手作業で行っていた
- 単純作業に多くの工数を割いており、本来やるべき業務に時間を割けていなかった

AFTER

- 単純ながら面倒で手間のかかる業務から解放された
- 本来やるべき業務に集中できる時間が増えた
- 精神的ストレスが削減された
- 今まで手作業で行っていた業務のサポート担当者の残業時間が削減された

単純作業やシステム間のデータ連携を手作業で行っていた



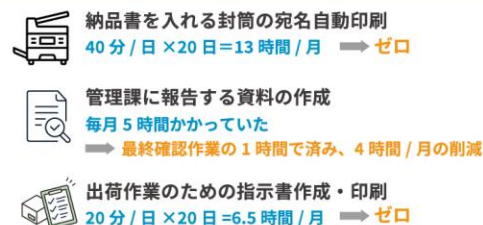
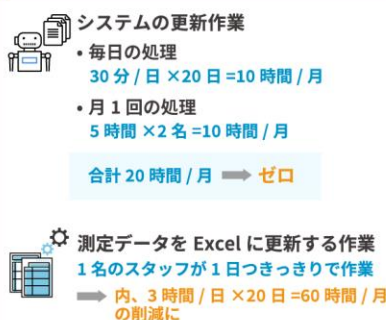
従業員のリソースを単純作業ばかりに割いていた

課題解決のために RPA を検討開始、簡単に扱えるツールを探した



RoboTANGO の導入決定

RPA 導入で生産部門や管理部門で発生していた単純作業が自動化。毎月 90 時間以上の作業時間を削減に成功。



さらに
今まで手間がかかり実施できていなかったピッキング作業の指示書に RPA を導入することで、より詳細な情報を記載できるように。結果、現場の従業員はピッキング作業を大幅にスムーズに進められるようになり、効率的な作業を実現。

やるべき業務に集中する
時間の拡大を目指そう

たとえ 2 ～ 3 分で完了するような作業でも、面倒だと感じるものは極力自動化したい。
さらに、属人化業務の削減と今いるスタッフの業務を少しずつ減らし、今後の雇用人数を抑えていけるように RPA を活用していきたい。

某製造業企業
(社名非公開)

某製造業企業様

課題

単純作業・面倒な作業に
多くの時間を割いていた

経緯

導入の決め手は直感的な
操作性と柔軟性、拡張性

コピー＆ペーストやシステム間データ連携の
ほとんどを手作業で行い、負担が増大していた

某製造業企業（以下同社）は、高機能プラスチックの加工事業をはじめ、多種多様な事業を手掛ける企業である。

同社では、システム間のデータ連携やデータの整形作業などの単純作業をすべて手作業で行っており多くの時間を割いていた。

「とにかくコピー、貼り付けといった単純作業が多く、人の手による単純作業はなくしていきたいと考えていました。

また、基幹システムをはじめ、さまざまなシステムを導入していますが、それぞれの互換性がなく自動連携をするためには開発コストがかかるため、手作業でシステム間のデータ連携を行っていました。

従業員のリソースを単純作業ばかりに割いていたので、業務の自動化を検討しました」（RPA運用担当者）

RPAを扱うのが初めてでも活用できると実感し
RoboTANGOを選択

会社指定のRPAの導入を検討したものの、プログラミング知識がないと運用が難しいと感じ簡単に扱えるRPAを探すことにした。

そのなかでRoboTANGOを見つけトライアルを行い、直感的で使いやすい点や柔軟性と拡張性が高く多くの業務プロセスに運用できると感じた点、価格が安い点などに魅力を感じ導入を決定した。

「RoboTANGOを選択した最大の理由は単純に分かりやすいなという点です。あまり考えなくてもRPAロボットを作成できます。

トライアルを行ったのは前任者で私は途中から引き継いだのですが、1か月も触っていたら使えるようになりました。私自身、普段の業務でシステムの設計を行ってはいましたが、RPAは初めてだったので不安もあったものの、わからない点はヘルプセンターに確認すればすぐに解決したので大きかったです。

また、価格面で他のRPAツールよりも安かったことも導入の決め手になっています」（RPA運用担当者）

効果

RPA導入で生産部門や管理部門で発生していた
単純作業が自動化され、月間90時間以上の作業時間を削減。

RPAにより単純作業や面倒な作業の自動化を進め、毎月90時間以上の作業工数の削減を実現。生産性の高い業務に割く時間の創出にもつながった。

(1) システムの更新作業

生産実績や製造量、仕掛り、在庫などを可視化するシステムからCSVデータを抽出して基幹システムにアップロードする作業。毎朝出社してすぐに30分程度かけて手作業で行っていた。また、毎月の更新は2名で半日（約5時間）かけて行うほど手間のかかる作業であった。

< RPA導入後 >

すべての作業が自動化され月間15時間の作業時間を削減し、出社時にはすでに作業が完了している状態を実現。現在は1つの課のみで自動化されているため、今後は他の課にも拡大していくことでさらなる効果を見込んでいる。

(2) 測定データを専用のExcelに更新する作業

生産業務での傾向管理を目的として、測定器から測定データをCSVで抽出し専用のExcelにデータを貼り付ける作業。毎日1～2回発生する作業頻度の高い業務であり、1名のスタッフが1日中付きっきりで行っていた。

< RPA導入後 >

RPAで一部を自動化し1日で3時間程度の作業が削減され、スタッフの負担軽減が実現した。

(3) 管理課に報告する資料の作成

基幹システムや可視化システムから抽出したデータを貼り付けし、管理課に報告する資料を作成する作業。毎月月末に手作業で約5時間程度かけて行っていた。

< RPA導入後 >

RPAが自動化したことにより、最終確認作業の1時間のみで済むようになり、月間4時間の削減につながった。

(4) 納品書を入れる封筒の宛名自動印刷

毎日30枚前後の納品書を郵送するため、封筒に宛名印刷をする作業が発生していた。これまでは、印刷ソフトで1つ1つ宛先を選択して20～40分かけて印刷していた。

< RPA導入後 >

RPAで宛先選択から印刷までを自動化させ、人は封筒をプリンタにセットするだけで作業完了。作業時間が削減されたことや、面倒な作業をするストレスからも解放された。

(5) 為替レートの抽出

同社は海外に製品の出荷も行っているため、毎日の為替レートの把握が必要がある。しかし、人が行うのは手間がかかるため、着手できていなかった。

< RPA導入後 >

毎日金融機関のWEBサイトからTTM（仲値）を取得し、同社のポータルサイトの掲示板に掲示。また、過去の為替相場をダウンロードし、為替変動の傾向分析も可能になった。

(6) 出荷作業のための指示書作成・印刷

出荷作業時に必要な指示書は毎朝担当者が20分程度をかけて印刷していた。

< RPA導入後 >

RPAでは1週間分の出荷情報を抽出し印刷する作業を自動化。今まで手作業では手間が多くできていなかったが、当日作成する梱包用の箱や台車の数、その箱の作成にかかる時間、台車の必要個数なども細かく指示書に記載することが可能になった。さらに手間もミスもなくなりスムーズにピッキング作業ができるようになった。



ご担当者様からのメッセージ



人が行う単純作業をなくして価値のある作業に集中したいと考えているのであれば、RPAは非常に高い効果が見込めます。特に製造業で面倒な作業を減らしたい方には最適のツールです。（RPA運用担当者）

日野興業株式会社様

RPA活用でシステム間のデータ連携や転記などの単純作業を自動化！9拠点で活用を広げ、会社全体で170時間/月の作業工数削減を実現

主に仮設及び常設のトイレ、バス、シャワー、シンクなどの屋内設備の製造・販売・レンタル・卸しを手掛ける日野興業株式会社有限会社（以下同社）。同社では、業務のIT化やDXを進めているものの、アナログ作業も多く残っており、既存システムと新しいシステムの連携ができず担当者の負担も増大していた。そこで販売代理店からRPAの導入を進められ、複数の候補からトライアルを経てRoboTANGOを導入。これまで人が行っていた作業の自動化を果たし、会社全体で最大月170時間の削減と担当者の負担軽減を実現。現在は会社内でのさらなるRPA浸透を目指している。

BEFORE

- 自社システムがAPI連携に対応していないため、システム間のデータ入力・転記を手作業で行っていた
- 単純作業や定型業務が多く、時間やリソースを多く割いていた
- 金額に関わるデータの入力を手作業で行っており、ヒューマンエラーによるWチェックや修正が負担になっていた

AFTER

- 会社全体で月間170時間もの作業工数の削減が実現
- 手作業によるミスの軽減、それによるWチェック・修正がなくなり担当者の負担が軽減された
- 生産性の低い単純作業や定型業務にリソースを割く必要がなくなり、やるべき業務に注力できるようになった

システム同士がAPI連携やバッチ処理ができずデータ連携を手作業で行っていた



Excel データをシステムに転記



ただクリックするだけの単純作業

多くの時間・リソースを費やしていた

解決策を模索していたところ
協力会社から RPA の導入を提案され 3 製品で比較検討



簡単に RPA ロボットを作成できそうな点



低価格での導入・運用が可能



1 アカウントで 5 台の PC で利用可能



RoboTANGO の導入決定

RPA 導入で作業時間の削減、定型業務の自動化、担当者の負担減を実現。9 拠点で自動化を進め、会社全体の業務効率化へ



・工事現場への案内図ファイルをデータベースに格納する作業
40 分 × 9 拠点 = 12.5 時間 / 月



・自社システムへの売上入力
5 時間 × 9 拠点 = 45 時間 / 月



・レンタル品を運送するドライバー情報の管理
15 時間 / 月



・社内ポータルサイトから配達一覧表 (PDF) のダウンロード作業



勉強会を実施し、各拠点で RPA の活用を拡大したい



今後は各拠点で RPA ロボットのアイデアを出し合い議論をしたり、作成課題を出したりし、自動化を加速させ RPA を展開させていきたい。



Interview

HINO KOGYO

日野興業株式会社

【事業内容】仮設及び常設のトイレ、バス、シャワー、シンクなどの屋内設備、その他建設関連資材の製造・販売・レンタル・卸

【設立】1952年4月

【所在地】千葉県市川市原木3024番地

【代表】代表取締役 積田 喜信

【WEB】<https://hinokogyo.co.jp/>

日野興業株式会社様

課題

アナログ作業が多く担当者の負担が増大していた

経緯

簡単に操作可能・低価格・PC5台で利用できる点が決め手に

手作業による定型業務が多く、生産性の高い業務にリソースを集中できていなかった

日野興業株式会社（以下同社）は、主に仮設及び常設のトイレ、バス、シャワー、シンクなどの屋内設備の製造・販売・レンタル・卸しを手掛ける企業である。

同社では、IT化やDXを進めてはいるものの、まだ多くのアナログ作業が残っていた。独自システムと他システムの連携ができないことやバッチ処理を行えない業務があり、データ入力や転記のような定型業務・単純作業を手作業で行っており、担当者の負担増大も大きな課題となっていた。

手作業による定型業務はミスが起きるリスクが高まるだけでなく、生産性の高い業務にリソースを割けなくなってしまう課題も生んでいることから、早急な対策が求められていた。

「IT化やDX推進に向けて動いており既存システムの刷新などを行っています。現状API連携だったりバッチ処理だったりできません。そのため、全国の事業所がExcelや他のアプリケーションを活用して何とか業務フローを回していましたが、転記作業やクリックするだけの単純作業が発生してしまっていました。」（上野氏）

販売代理店からRPAを勧められ3製品を比較検討し、RoboTANGOを選択

業務効率化や担当者の負担軽減策を模索しているなか、同社の協力会社である販売代理店から3つのRPAを提案され比較検討を開始した。

その後RoboTANGOのトライアルを行い、スターティアレイズの営業担当者からサポートを受けながら2〜3個のRPAロボットを作成した。自動化したい業務が実現し業務効率化につながり費用対効果が高いと感じたため導入を決定。

「私含めRPAという言葉すらも知らない中で、1番簡単にロボットを作成できそうだった点です。」

RPAを導入してもRPAロボットをつくるのに専門の知識が必要であったり運用が難しかったりでは、社内に浸透させるのも困難です。そうした意味で誰でもRPAロボットを作成できるという点は大きかったですね。

また、予算内に収まる低価格だったのも、RoboTANGOに決めた理由の一つです。そして、弊社は全国で9の拠点があるので、1拠点につき1個ずつ動かせたほうが浸透も早まります。そのため1ライセンスを5台のPCで利用できるフローティングライセンスがあるのもよかったです。

これらの理由でRoboTANGOの導入を決めました」（上野氏）

効果

RPA導入で9拠点の自動化を進め、月間170時間の作業時間を削減
会社全体の業務効率化とともに、担当者の負担軽減を実現

RPAの導入により、アナログ作業や定型業務の自動化を行い、拠点によっては最大で1日4時間、会社全体で月間170時間の効率化を実現。また、経理業務の自動化により、入力ミスやダブルチェックの手間もなくなり、担当者にかかる精神的な負担も大幅に軽減された。

（１）工事現場への案内図ファイルをデータベースに格納する作業

仮設トイレを設置する工事現場の案内図を文書管理システムを通じて、アプリへ移行する作業。多いときは1日に100件ほどの案内図を1件ずつ手作業で行う必要があり、土曜日を含め毎回30〜40分かかっていた。

< RPA導入後 >

今まで手作業で行っていた一連の流れを自動化し、9拠点×12.5時間/月＝100時間/月以上の業務時間がゼロにまで削減された。また、派遣社員の雇用費用と比較しても、安価で処理が可能のためコスト削減にもつながっている。

（２）レンタル品を運送するドライバー情報の管理

仮設トイレを運搬するドライバー情報の管理をExcelで行っており、配送ルート・受注番号・ドライバー情報が記載されている。その情報を基幹システムに入力する作業を、土日を含め毎日手作業で15〜30分かけて行っていた。

< RPA導入後 >

Excelに記載されている1日の案件情報一覧はドライバーごとにまとまっていないため、まずはデータを整形し基幹システムにて案件ごとにドライバー情報を入力する作業を自動化し、人の作業はゼロにまで削減された。多いときは200件ほどの処理が必要なため、RPAで自動化されたことにより、担当者の負担軽減につながった。

（３）自社システムへの売上入力

お客様から入金があった際、自社システムに金額を入力する作業が9拠点で発生しており、経理担当者が売掛金額や現金手数料の仕訳を行い、自社システムと会計システムの両方にデータを入力する。また、入力ミスが発生すると両システムで誤差が生じてしまい、締め日にミスを探したり修正したりなど、多くの工数が発生していた。

< RPA導入後 >

手作業で仕訳後の自社システムから会計ソフトへの転記作業をRPAで自動化。これにより9拠点×5時間/月＝45時間/月の作業時間の削減を実現。さらにRPAの正確な操作によりWチェックや修正作業の必要がなくなり、担当者の負担も大幅に軽減された。

（４）社内ポータルサイトから配達一覧表(PDF)をダウンロードする作業

社内ポータルサイトからドライバーごとの配達一覧表をダウンロードし前日に各ドライバーに送信する作業が毎日発生していた。

< RPA導入後 >

社内ポータルにログイン後、配達一覧表をダウンロードし、ファイル名にドライバーの名前を付け指定のフォルダに保存。その後LINEWORKSのトークでファイル名から取得したドライバー名を検索し、添付して送信する流れを自動化した。現在は1拠点のみで実施しているが定型業務が自動化され工数削減につながった。

ご担当者様からのメッセージ

現在の業務を少しでも効率化し楽に仕事をしたいという思いが強い方にRPAの導入は向いていると思います。また、定型業務に人的リソースを割いている管理職や拠点長の方におすすめしたいです。まずはトライアルをしてRPAでできることとできないことを担当営業に相談しながら見極めることが重要です。（上野氏）

RPAの仕掛品の仕訳作業などExcel業務を自動化 人手によるチェック工数の削減で担当者の負担軽減を実現

主にプリント基板の実装や電子部品の調達を行う製造業の株式会社相信（以下同社）。同社では、Excelを使った定型業務をすべて手作業で行っており負担になっていた。主に経理業務の処理が多く手作業では時間がかかるうえチェック作業に多くの工数を割いていた。担当者の負担軽減や効率化のためにRPAを検討し、トライアルも含めいくつかの製品を使っていくなかで、コスト面からRoboTANGOの導入を決定。現在では、7~8個のRPAで作成したロボットが動いていて、定型業務の自動化を行っている。作業時間の削減はもちろん、チェック工程が大幅に削減されたことで、担当者の精神的負担軽減も実現した。

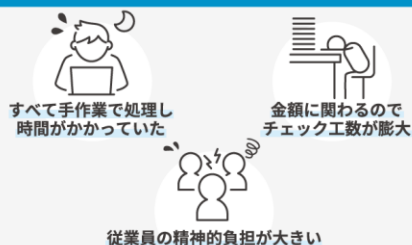
BEFORE

- Excelを使った定型的な作業の手間が増大していた
- バックオフィス業務のデジタル化を検討していた
- Wチェック・トリプルチェック作業に多くの工数がかかっていた

AFTER

- 定型業務が自動化され効率化が進んだ
- RPAが正確に操作するため、確認作業がなくなり、担当者の精神的負担が軽減が実現した

月末に発生する経理部門の 定型作業に工数がかかっていた



業務効率化の推進には
RPAが有用だと感じ、検討開始

- ✓ 使いやすさ
- ✓ 低価格

RoboTANGO の導入決定

経理業務の効率化とチェック工数の削減に成功 さらに、担当者の身体・精神的負担の軽減を実現

仕掛品の仕訳作業
7時間 / 月

与信調査依頼にかかった費用の
集計作業
5分 / 月

給与システムと
勤怠システムとのデータ連携
30分 / 月

宅配料金の集計
10分 / 月



RPA の正確な操作で
ミスなく処理し、
W チェックの工数が削減

今後は定型的な業務のすべてを RPA で自動化したい



ヘルプセンターやサポートの力を借りながら、
RPA ロボットを作成できる担当者を増やし、自動化を進めたい



株式会社相信

【事業内容】プリント基板の実装、電子部品の調達、マイコン搭載制御機器の設計開発、その他上記に関する周辺業務

【設立】1978年5月18日

【所在地】東京都府中市新町3-5-7

【代表】代表取締役 菅野 政

【WEB】<https://aishin.co.jp/>

株式会社相信様

課題

月末に発生する経理業務の処理や
Wチェックが大きな負担だった

手作業で処理していた定型業務やチェック工程の
負担削減のため効率化が必須であった

株式会社相信（以下同社）は、主にプリント基板の実装、電子部品の調達、マイコン搭載制御機器の設計開発などを行う製造業社である。

同社では、Excelを使った定型業務が多く、主に経理業務の効率化を目的にトライアルも含めいくつかのRPAを試していたが、ロボットを作成する難易度の高さに本格導入には至っていなかった。

しかし、業務効率化のためにRPAが有用だと感じていたため導入を改めて検討開始した。

「弊社では、Excelを使った定型作業が多く、すべて手作業で行っていたため負担になっており、課題を感じていました。

特に月末の締め後に発生する経理業務の処理が多く、金額が関わるものなので慎重にならざるをえません。

そのためWチェック、トリプルチェックを行っていたため工数が増えてしまい、担当者の精神的負担も大きく、どうにか効率化したいと考えていたのがRPA導入を検討したきっかけです」（菅野氏）

経緯

操作感・コスト面から
RoboTANGOの導入を決定

年間契約ではなく、月単位の契約で
スモールスタートができる点が魅力に感じた

業務効率化や担当者の負担軽減を目的としてRPAの導入検討を始めた同社では、展示会に参加した際にRoboTANGOに出会い、使いやすさとコスト面から導入を決めた。

「展示会でたまたま立ち寄ったスターティアレイズのブースでRoboTANGOのデモを見させていただいたところ、良さそうだと感じました。

また、サブスクリプションのように、年間契約ではなく月単位で契約ができ、スモールスタートができる部分に魅力を感じ、トライアルをすることなくRoboTANGOの導入を決めました。

実際に使ってみると、サポートのレスポンスの速さや、回答の質が高いことでとても助けられています」（菅野氏）

効果

RPA導入で定型業務の効率化を実現。ミスが許されない給与処理の
自動化も果たし、担当者の精神的負担軽減も達成

RPA導入後、7～8個のRPAロボットを作成し、導入前からの課題であった、Excelを使った定型業務の効率化や担当者の精神的負担軽減を実現した。

（１）仕掛品の仕訳作業

毎月月初に行っていた翌月へ繰り越す仕事、すでに完了している仕事の仕訳作業を1人の担当者が手作業で行っており、1～2営業日（7時間）ほどかかっていた。

<RPA導入後>

ExcelからCSVに変換し、データを加工して専用の管理ツールにアップロードする作業を自動化し人の作業はゼロにまで削減され、作業自体は7,8分で完了させることが可能になった。

（２）給与システムと勤怠システムのデータ連携

毎月月初に給与システムと勤怠システムのデータを連携するため、30分ほどかかる作業を人の手で処理していた。金額に関わることなのでミス防止のためWチェックが負担となっていた。

<RPA導入後>

勤怠システムにて対象の項目・期間で絞り込み全社員分のCSVデータを抽出し、給与システムにアップロードする作業と、処理したデータを社内サーバーに所定のファイル名をつけて保存する作業を自動化し効率化につながった。

さらに、ダブルチェックやトリプルチェックが不要になり、担当者の精神的負担が軽減され効率が向上した。

（３）与信調査依頼にかかった費用の集計作業

新しい取引先の与信調査費用の集計作業を、毎月5分かけて手作業で行っていた。

<RPA導入後>

与信を依頼する調査会社の管理用Webサイトにて、集計期間を指定してデータをExcelで抽出し、金額のデータ集計を行い社内の会計システムに転記する作業を自動化。人の作業がゼロに削減された。

（４）宅配料金の集計

製品の卸売りに際して出荷時の宅配料金が発生するため、毎月月初に手作業で5～10分かけて集計作業を行っていた。

<RPA導入後>

宅配業者専用の管理サイトにて期間を指定し、CSVをダウンロードを抽出する。その後、会計システム用のExcelフォーマットにあったデータに加工する作業を自動化。人の作業がゼロにまで削減された。

「RPAを導入するにあたって、Excelの関数やコマンド操作を理解していないとロボを作ることは難しいので、最近改めて勉強し直しました。

勉強していると日常的な手元のExcel操作のコマンドも覚えてくるので、そちらの効率化も進んでいますね。これもRPA導入の効果の一つだと思います」（菅野氏）



ご担当者様からのメッセージ



RoboTANGOは直感的な操作で扱えるので、操作自体はすぐに覚えられると思います。また、プログラミングとは違って、RPAの操作はノーコードでできるので作りやすくできていると思います。導入ポイントは、トライ＆エラーを嫌がらずに自ら学ぼうとする人材を担当者として選ぶことです。上手いかわからないことも楽しめる人材がRPAには向いていると思います。（菅野氏）

RPA導入でECサイトの在庫状況の更新や 電子帳簿保存法対応など業務の自動化により、 サービスの質向上、外注費削減を実現

ホテル・レストラン用食器、デパート・専門店向けテーブルウェア、輸出向けディナーセットなどの陶磁器製造・販売を行っている光洋陶器株式会社（以下同社）。同社では、属人化による業務が非効率であったり、各システムの連携に多くの手間を要していたり、社内リソースが不足しており外注しなければならない業務があり、年1回ではあるものの数十万円のコストがかかってしまうなど課題を抱えていました。そこで、RPAの導入を進め、ルーティンワークの自動化や電子帳簿保存法対応を実施。効率化を果たすことでルーティンワークからの開放、お客様対応に集中できる環境の実現によるサービス品質の向上、定型業務における外注費削減などに成功しました。

BEFORE

- 業務の属人化が進み、担当者がいないと業務が滞ってしまっていた
- 決まった時間に行う業務では、他の業務を中断して行う必要があった
- システム連携一括処理などを手作業で行っていたため、多くの手間がかかっていた
- 年1回数十万円の外注コストがかかっていた
- お客様の電話対応中も、時間になれば行わなければならない作業があり、集中できなかった

AFTER

- 外注していた定型業務の自動化により、対象業務の外注費をゼロに削減した
- ECサイトの在庫状況の更新作業をRPAが業務時間外に行ってくれるため、ほぼリアルタイムで更新が可能になった
- 2,000行の処理に21時間ほどかかっていたが人から手離れし、ゼロになった
- もうすぐ義務化が始まる電子帳簿保存法への対応業務を自動化できた

業務の属人化や外部委託コスト、 作業中断による精神的負担...



業務の属人化による
業務の停滞



人による手作業が多く
手間がかかる



膨大な単純処理を外注し
1回数十万円のコスト...



他の対応が入り、
業務が多々中断される

単調な作業を RPA で自動化し、
コスト削減・リソース不足を解消できないか？

RPA 導入でお客様対応の質向上、外注コストの削減



在庫状況の更新
常に正しい在庫状況をほぼ
リアルタイムで更新が可能に



商品品番の変更
2,000 行の処理が自動化され、
外注コスト削減



電子帳簿保存法の対応業務
従業員負担を増やさずに対応可能に



販売管理システムでの印刷作業
タイムラグをなくし、お客様への
連絡遅延リスク低減を実現



**その他、商品売上管理ファイルの作成や
Google アナリティクスデータの抽出の自動化も**

RoboTANGO と他社 RPA 2 台を
業務時間帯によって使い分け

- ✓ 70 個のロボをフル活用
- ✓ 時間による縛りがなくなり
業務を中断することが大幅に減少
- ✓ お客様対応におけるサービスの
質向上につながった
- ✓ 作業工数月間 **40** 時間以上削減



光洋陶器株式会社

【事業内容】業務用食器、個人向け食器の製造・販売

【設立】1964年12月22日

【所在地】岐阜県土岐市泉町久尻1497-3

【代表】代表取締役社長 加藤一治

【WEB】<https://www.koyotoki.co.jp/>

光洋陶器株式会社様

課題

属人化業務や手作業が多く
お客様対応に弊害が生じていた

リソースの問題からシステム処理を外注しており
年1回数十万円のコストが発生していた

光洋陶器株式会社（以下同社）は、ホテル・レストランの業務用食器を中心に12,000点を製造販売する食器メーカーである。

同社では、システムの仕様上、一括処理ができない業務があり、単純作業ではあるものの約2,000行ほどの処理をしなければならない業務があった。リソースの関係から社内での作業が難しく外注に頼らざるをえず、毎回数十万円のコストがかかっていた。

また、各業務の属人化も課題の一つだった。担当者が不在の際には業務が滞ってしまったり、システム間を連携する作業も多いが、ほとんどが手作業であったため、手間がかかりほかの業務時間を圧迫していた。

さらに、決まった時間に行う必要がある業務によって、お客様対応中に処理しなければならなかったり、業務を中断する必要がある、一つの業務にできない課題があった。

「商品カタログ切り替えのタイミングで商品情報の削除をするのですが、システムの仕様上、数万行を1行ずつ手作業で削除していました。」

また、毎日決まった時間にデータの抽出を行う作業があって、ほかの作業を中断しなければならなかったり、電話対応中に抽出したりと一つの業務に集中できない状況を何とか解決したいと考えていました」（丹羽氏）

効果

RPA導入で属人化防止やお客様対応のサービスの質向上を実現
今まで外注していた業務をRPAが代行し、コストがゼロになった

RPA導入後はロボが自動で業務を行ってくれるので、お客様から電話での問い合わせ対応にも集中して行えるようになり、サービスの質向上も実現した。また、従来属人化していた業務もRPAの活用により、誰でも対応が可能になったことで業務が滞ってしまうリスクも激減。さらにこれまで外注していたルーティンワークもRPAで対応できるようになり、外注コストもかからなくなった。

（１）在庫状況の更新

販売管理システムでは自動で売上処理ができず、在庫数も変動しない。そのため、業務時間外にECサイトにて注文があった際は、次の営業日に人の手で更新しておりタイムラグが生まれていた。在庫切れの商品の注文を受けた際は、お客様にご連絡しなければならなかった。RPAで自動化したことで常に正しい在庫状況の更新をほぼリアルタイムでできるようになった。お客様にご迷惑をおかけするリスクが減り、在庫切れの連絡をする手間がなくなることで担当者の負担軽減も実現した。RPA導入による最大の成果である。

（２）商品品番の変更

業務時間外に行う必要がある販売管理システムの品番の変更業務。廃版商品を不要の品番として、毎回2,000行ほどの処理をする必要があった。手作業で行うと21時間（3営業日）かかっていた。RPAの導入によって1日で完了するうえ、自動化されたため、休みの日に作業を行う必要もなくなった。

（３）売上管理ファイルの作成

販売管理システムから在庫・売上数量をExcelでエクスポートし、営業生産管理部用に在庫や売上、基準在庫、売上によるABCランクなどの更新を、RPAを使い毎朝処理している。また、一つのExcelに複数のCSVを貼り付ける作業も自動化することで手作業の手間が削減された。

経緯

録画機能や複数人でロボを作成
できることが決め手に

フローティングライセンスによりRPA作成者の
育成ができることが導入の決め手

同社では、さまざまな課題解決を目的にRPA導入による業務効率化を検討。7～8社の情報収集、比較検討を行った。トライアルを行ったり、実際に導入したものもあったが、コスト面やロボ作成のハードルが高かったこと、安定性などの理由から別のRPAに切り替えることにした。最終的には次の観点から「RoboTANGO」の導入を決定した。

- ・低コスト
- ・録画機能
- ・シンプルな操作
- ・RPAを作成するまでの過程が他のRPAより早くスムーズ
- ・チャットワークと連携している
- ・フローティングライセンスにより複数人でロボを作成できる

「RoboTANGOに決めた最大の理由は、フローティングライセンスにより、複数人でロボが作成できる点です。社内でRPAを普及させていくには、ロボを作成できる人材を増やす必要があるため、このライセンスが導入の大きな決め手となりました」（丹羽氏）

「プログラミングの知識がほとんどなくても扱っているうちに少しずつ使えるようになりました」（下村氏）

（４）電子帳簿保存法の対応業務

電子帳簿保存法に対応するため、FAXで受けた注文書をPDF化した後の処理で、指定のファイル名への変更とタイムスタンプ付与作業にもRPAを活用している。

ファイル名はもともと年月日時間で作成されるので、「得意先コード」と「得意先名」を追加する作業を行った後、タイムスタンプ付与システムで処理するという流れを自動化した。

（５）商品受注後に販売管理システムでの印刷作業

在庫切れの商品を受注した場合、お客様に入荷時期を連絡する必要があるため、少しでも早く生産手配の紙のリストを生産管理部に提出する必要があった。このリストは10時、12時、15時と決まった時間に出るため、その都度対応している業務を中断していた。手作業ではタイムラグも生まれやすくお客様への連絡も遅れがちだった。

RPAで販売管理システムから在庫データの抽出、生産管理システムにて生産手配書の作成・印刷を自動化。2つのシステムを連携したことにより、タイムラグなくお客様への連絡遅延リスク低減も実現した。

（６）Googleアナリティクス（GA4）のデータ抽出

ECサイトのアクセス解析データを抽出・CSV化して経営者側と管理者側、営業用の資料として営業担当にも送る業務を自動化した。

ご担当者様からのメッセージ

できるだけ業務を効率化したいのであれば、RPAの活用についていろいろと学び、試行錯誤を続けて欲しいと思います。作成の楽しさに気づけたら、RPAに興味がわくと思いますので、興味がある方はまず一度使ってみることをおすすめします。（下村氏）

有限会社東亜工作所様

RPA導入でWeb-EDI周りの作業時間を月間40時間削減！ 製造業界のDX推進支援のために、パートナーとして RPA普及にも貢献

主に機械加工を手掛ける製造業の有限会社東亜工作所（以下同社）。同社では、定型業務に多くの時間を割かれ、本来取り組むべき付加価値の高い業務に取り組む時間が確保できていないことが大きな課題であった。そこで、展示会に参加し低価格、操作性の良さなどからRoboTANGOの導入を決めた。導入後は手作業だと忘れがちになってしまう作業を自動化し、漏れ・ミスの削減を実現。さらに現在では、代理店として同じ悩みを抱える製造業の企業に向けRPAの普及にも努めている。

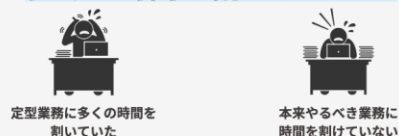
BEFORE

- 付加価値の低い定型業務に多くの時間を割かれていた
- 本来取り組むべき業務に注力したく、業務効率化が急務であった

AFTER

- 定型業務にかかる時間が減り、本来取り組むべき付加価値の高い業務に取り組む時間が増えた
- 手作業だと忘れがちになってしまう作業も自動化により漏れがなくなった
- RPAの高い効果や将来性を強く感じ、現在では販売代理店として同じ業界の企業に紹介し、DXの支援活動も行うようになった

付加価値の低い定型業務に多くの時間が割かれていた

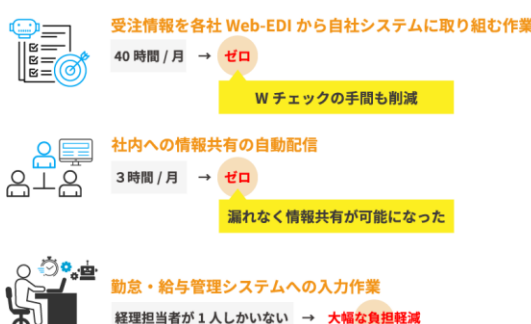


4年前から RPA に興味。
しかし、導入コストが高額で
操作が難しそうな印象があり導入には至らず...

RoboTANGO と出会い、3つの理由から導入を決定

- 1 低価格での導入が可能
- 2 操作性の良さ
- 3 導入サポートの良さ

RPA 導入で Web-EDI 周りの作業時間を月間 40 時間削減！



パートナーとして RPA 普及に貢献

RPA の利便性に感銘を受け
RoboTANGO のパートナーに

製造業の課題

- ✓ 紙を扱う業務が多い
- ✓ 業務の効率化が進んでいない
- ✓ 人手不足
- ✓ デジタル化が遅れている

同じ課題を抱えている中小企業の
効率化・人手不足の解消を支援していく



有限会社 東亜工作所

【事業内容】船舶部品、モーター部品、航空宇宙部品、巻上装置部品などの製造

【設立】1952年12月

【所在地】長崎県西彼杵郡時津町久留里郷376-10

【代表】代表取締役 黒崎 智

【WEB】<https://www.toak.jp/>

有限会社東亜工作所様

課題

本来やるべき業務に
注力できていなかった

経緯

コスト面と操作性から
RoboTANGOの導入を決定

付加価値の低い定型業務の負担が増大し、
業務改善の施策を検討していた

有限会社東亜工作所（以下同社）は、主に機械加工全般を手掛ける製造業の企業である。

同社では、受注処理や現場社員への情報共有など重要ではありつつも日々発生する定型業務の負担が大きく、付加価値の高い業務に取り組む時間を上手く確保できていなかった。

そこで、業務効率化を実現させるべく、約4年前から定型業務の自動化を可能にするRPAの導入を検討していたが、導入コストが高額だったことや操作が難しそうな印象があり、その時点では導入に踏み込めなかった。

しばらくして、安価なRPAを提供している企業が増えてきたことから、改めて検討を始め展示会に参加して情報収集を始めた。

「会社をもっと良くするための業務に注力できる時間を確保したかったのですが、付加価値の低い定型業務に時間を要していたため、その改善策としてRPAの導入を検討しました」（黒崎氏）

RPAの効果を実感し、
販売代理店としてRPA普及活動も開始

情報収集のために参加した展示会で、RoboTANGOに出会い、低価格で始められるという点に惹かれ、導入を決定した。
また、無料トライアルの段階で操作レクチャーを受け、使いやすさを実感でき、すぐに本格的な導入が可能になった。

「RoboTANGOを見たときにこれだ。と思ったのですぐに導入を決めました。最初は導入・運用にかかるコストが手頃だったので、これだったらとりあえず導入してみて、上手くいかなければ途中で止めてもいいかと思っていました。」

しかし、無料トライアルの段階で操作レクチャーをしてもらえたり、使いやすさも抜群ですぐに本格的な導入ができました。」
（黒崎氏）

さらに、RPA導入後すぐに効果を得られたため、同業界の製造業で同じような課題を抱えているのではないかと考え、販売代理店としてRPA普及活動を開始。

「弊社が所在している長崎県は土地柄もあり、なかなか情報が入りにくいうえに製造業は他の業種に比べてデジタル化が遅れているので、私がデジタル化についてのノウハウを広め、同じ課題を抱えている中小企業の効率化・人手不足の解消を支援していければと思います。」（黒崎氏）

効果

RPA導入で定型業務にかかる作業工数の削減により、
今まで取り組むことができなかった新規業務への取り組みを実現

RPAを導入したことで、定型業務にかかる作業工数の削減が実現。さらに、RPAが正確に作業を行うため、チェックにかかる手間が削減された。また、担当者が1人しかいない業務に関しては、属人化が解消され、大幅な負担軽減につながった。

（1）受注情報を各社Web-EDIから自社システムに取り込む作業
顧客からの注文があった際に発生する作業をすべて手作業で行っていた。また、Wチェックを行うため2人がかりで作業しており、毎日2時間かかっていた。

< RPA導入後 >

各顧客のWeb-EDIから注文書や図面などのCSVやPDFをダウンロードし、自社システムに転記入力・業務部へのメンバーに通知する作業までを自動化し、月間40時間の削減に成功した。
この業務の自動化がもっとも社員の負担軽減につながっている。

今後は、指示書を印刷して担当部署に提出する作業の効率化のために、印刷作業の自動化も検討している。

（2）社内への情報共有の自動配信

現場への情報共有は自社システムから前日の注文内容をダウンロードし、LINEWORKSにて配信していた。漏れが生じると注文情報が不正確になり、後になって確認の問い合わせが多発し、対応の手間が増えてしまっていた。

< RPA導入後 >

毎朝7時に行う10分程度の業務ではあるが、配信の漏れをなくすことができた。さらに、この業務から解放されたことで配信のことを覚えておく必要がなくなり、その分クリエイティブな業務や本来やるべき業務に集中できるようになったことは大きな成果となっている。

（3）勤怠・給与管理システムへの入力作業

現在、勤怠・経理情報についての会計管理ソフトとの連携もRPA活用を進めている。勤怠をバーコードで管理しており、データをExcelでエクスポート。その後勤怠・給与システムに転記入力する作業を1人の担当者が処理している。

自動化が実現すれば35人分の勤怠情報管理が自動化され、大幅な効率化と負担軽減につながる。



ご担当者様からのメッセージ



私たちと同じ業界の製造業ではとにかく紙を扱うことが多く、例えば、勤怠情報を手書きで紙に記入して、担当部署に提出し手入力していく流れが多発しています。人手不足の解消や本来やるべき業務に専念できるように、まずはITに目を向け一緒にデジタル化にシフトしていきましょう。（黒崎氏）

株式会社ミモト様

業務の属人化や重複作業の削減を目的にRPAを導入 接点の少ない社員との交流や社員の意識レベル向上を実現

主に陸用や船舶の小形ディーゼルエンジンの部品やGHP空調といったエンジン部品の製造を行っている株式会社ミモト（以下同社）。同社では、ベテラン社員による業務の属人化、毎日発生する単純業務の効率化に課題を抱えていた。特に単純業務では、同じ作業を複数人で行う無駄も多く早急な解決が求められていたため、RPAの導入を決定。運用を進めていくうえで、これまで接点の少なかった社員との交流や社員の意識レベル向上を実現した。今後はロボットによる効率化からさらに生産性向上も視野に運用を進めている。

BEFORE

- ベテラン社員の業務属人化が進んでいた
- 毎日発生する単純作業が多いうえ、その作業を重複して行ってしまう業務の無駄が生まれていた

AFTER

- ロボット制作を進めるなかで、属人化が進んでいた業務のマニュアル化も実現した
- 単純業務の自動化、重複作業の削減が実現した
- RPA運用を推進していくなかで、他部署との新たな交流が生まれ、社員の意識レベルも向上した

業務の属人化や 無駄な業務の多さが課題に...



特定の従業員しか
できない業務が増え
属人化が生まれていた



新しいツールの導入で
社員の意識を向上させたい
という思いがあった



同じ作業を複数人で
行ってしまう業務



課題解決・
対応策として...
RPAの導入を開始

RPAの導入で最大 1,800 分 / 月の作業時間削減！



部品の不良情報をダウンロードし印刷する作業
作業時間 100 分～200 分がゼロに



Excel から給与システムへの入力作業
費用の計算を含め手作業がゼロに

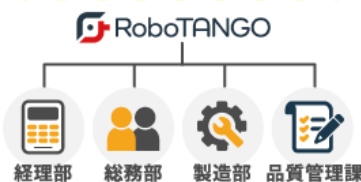


生産計画用の PDF・CSV をダウンロードする作業
手作業がなくなり負担軽減に



電子日報の CSV データのダウンロード作業
毎日発生する作業がゼロに

4つの部署跨いでフル活用



- ✓ 社内の効率化を促進している
- ✓ 週1回30分程度の意見交換を実施
- ✓ さらにRPA活用を拡大を目指す



株式会社ミモト

【事業内容】陸用・船用ディーゼルエンジンの精密加工業、おもちゃメーカー

【設立】1947年10月

【所在地】石川県白山市旭丘1丁目13番地

【代表】代表取締役社長 河原 良篤

【WEB】 <https://www.mimoto.co.jp/>

株式会社三モト様

課題

業務の属人化や無駄な業務の多さが課題となっていた

特定の社員しかできない業務が多いうえ、複数人が同じ業務をしているケースが多かった

株式会社三モト（以下同社）は、主に陸用や船舶の小形ディーゼルエンジンの部品やGHP空調といったエンジン部品の製造を行っている。

同社では、ベテランの社員が多く、世代交代が上手く進んでいなかった。その結果、特定の社員しかできない業務も多く、業務の属人化が大きな課題となっていた。

また、自分以外の人が何をしているのかわからず、同じ作業を複数人で行ってしまうといった業務の無駄も多く見られた。これにより、業務の非効率化が生まれ、ひいては生産性の低下にもつながってしまっていた。

「複数人の社員が同じデータを取得して、それぞれが同じ作業をしているケースが少なくありませんでした。それぞれが何の仕事をしているのかわかっていなかったというのが大きかったと思います」（酒井氏）

効果

部署間の交流や社員の意識レベル向上を実現

基幹システムからのデータ取得の自動化に加え、部署間の交流、社員の意識レベル向上が実現

RoboTANGO導入後、主に基幹システムからの生産管理データや不良データの取得、電子日報のデータ取得、勤怠管理など毎日発生する単純作業のロボットを多数制作し、これまで手作業で行ってきた業務の効率化（最大で1日1時間半程度）を果たした。

また、RPAを推進していく過程で、これまで接点の少なかった社員同士の交流や社員の意識レベルの向上が実現。社内全体のデジタル化やDX化に向けた足掛かりとして期待が高まっている。

「RPAを導入する以前は、全く部門が違えば話すこともないような人たちが、自分たちのお互いの業務について語ったり、歩み寄ったりする機会はありませんでした。現在では、ロボを制作できる人材も9名まで増加し、交流はさらに活発になっています」（三浦氏）

「導入初期はRPAに慣れるまで時間を要するため、担当者の想いや熱が足りないとなかなか社内でも広がっていきません。しかし、自社の課題解決を実現させたい、少しでも社内の雰囲気を変えたいといった強い想いを持って推進していくことで、それが徐々に周囲に伝わり、社員の意識レベル向上につながっています」（池田氏）

経緯

2社のツールでトライアルを行い、RoboTANGOを選択

操作性とサポートの良さ、価格の安さからRoboTANGOを導入

同社では、属人化防止や業務の被り解消などを模索している過程で、経営陣からRPAの導入を勧められ、調べていくなかで、複数社のなかから、2社に絞ってトライアルを行った。

最初にトライアルを行ったツールは自社の基幹システムと相性がよくなかったことや、価格面で折り合いがつかなかった。その後、トライアルを行ったRoboTANGOは、最初のツールに比べて操作性が良かった点、同じ機能でも大幅に価格が安かった点、そしてサポート担当が親身になって相談に乗ってくれた点などから、トライアル開始1ヵ月で導入を決定した。

「価格面ももちろん見ましたが、それ以上に操作性が良かったのが決定した一番の理由です。そして、サポート担当者の対応が良かったのも理由となっています。ツールとはいえ、最終的には人の対応が重要なので、それが良かったのが大きかったですね」（池田氏）

展望

今後はデータ分析にもRPAを活用し、生産性向上を目指す

現状のデータ取得自動化から今後は取得したデータの分析による生産性向上を実現させたい

現状、基幹システムや電子日報からのデータ取得が主になっているが、今後は取得したデータを業務改善に活かすのが大きな目標となっている。

RPAの基礎知識や活用方法、次に制作するロボットについてなどの意見交換を行う場を活用し、社内での活用を増やしつつ、業務効率化から生産性向上につなげるためのロボット活用を進めていきたいと検討を重ねている。

「現在は生産管理システムや電子日報からのデータ取得など、業務の効率化を進めるための自動化が主になっています。

ただ、データ取得で終わっていて、取得したデータの活用にまでは至っていないため、今後は取得したデータを分析して生産性向上につながる部分についてもRoboTANGOを使っていきたいと思っています」（酒井氏）

ご担当者様からのメッセージ

導入初期はRPAに慣れるまで少し時間を要するため担当者の想いや熱量がないと、社内で促進させることは難しいです。ですが、自社の課題解決を実現させたい、少しでも社内の雰囲気を変えたいといった強い想いを持って推進することで、それが徐々に周囲にも伝わり、社員の意識レベル向上につながっています。（池田氏）

イーゲート株式会社様

電子帳簿保存法改正で増えた大量のPDFファイルの
処理効率化を目指しRPAを導入、効率化とミス削減を実現

福井県で下着の製造販売や医療用製品の製造を行っているイーゲート株式会社（以下同社）。同社では電子帳簿保存法改正で大量に増えたPDFベースの発注書の処理に課題を抱えていました。また、基幹システムに入力する定型的な作業も多く、手作業によるヒューマンエラーの改善も喫緊の課題となっていました。そこでRPAを導入し、手作業の自動化を推進し、業務効率化やヒューマンエラーの削減による正確性の向上を実現しています。

BEFORE

- 電子帳簿保存法改正にあたり、取引先から大量に送られてくる発注書（PDFファイル）の処理に時間を取られていた
- 基幹システムへの入力の多くが手作業で効率化や正確性の向上が必須であった

AFTER

- RPAでの自動化により手作業では1~2営業日ほど増えてしまうはずだった作業・工数がなくなった
- 基幹システムへの入力作業で3つのロボットを動かし自動化を成功させた

改正電子帳簿保存法の対応により
経理部門の作業が煩雑になる恐れ...

RPA 導入 2 か月で月間 24 時間の作業工数削減に成功！

こんな業務を自動化

★電子帳簿保存法の対応 - 発注書の処理



★生産管理システムでの月末処理

RPA 導入により、
経理部門へ影響を及ぼさずに済んだ。月間**16時間**の
作業工数削減に！

RPA により手作業がゼロに！

月間**8時間**の
作業工数削減に！
また、作業時間が
1時間に短縮！

イーゲート株式会社

【事業内容】 下着の製造販売、医療用製品の製造

【設立】 平成7年3月

【所在地】 福井市川合鷺塚町40-10

【代表】 代表取締役 野坂 鐵郎

【WEB】 <https://www.e-gate.global/>

イーゲート株式会社様

課題

大量のPDFファイル処理の
効率化が課題であった

電子帳簿保存法改正に伴う大量の発注書処理や
基幹システム入力の自動化が喫緊の課題だった

イーゲート株式会社（以下同社）は繊維・アパレル業を営んでおり、メインは女性の下着製造・販売。販売に関してはBtoB以外に自社ECや楽天・AmazonなどでtoC向けも行っている。

また男性用下着や医療用（ガーゼ）製造も行っており、ガーゼの生地は女性用下着類の製造にも使用している。元々のメインは有名下着メーカーのOEMで、これは現在でも継続して行っている。

同社では、電子帳簿保存法の改正に伴いOEMの取引先から多い時は月に100～150件ほどの発注書（PDF）が送られてくるようになり、その処理や管理が煩雑化していた。また、基幹システムへの入力作業も手作業のため、正確性にも問題があるということで業務の効率化と正確性の向上は喫緊の課題であった。

「電子帳簿保存法改正前は送られてきたPDFをそのまま保存しておけばよかったのですが、改正に対応するための管理や情報の付加などの処理をすべて手作業で行うのはかなりの負担となります。

また、元々基幹システムを生産管理システムとして活用していましたが、ExcelやPDFとかのシートを見ながらその内容を手で打ち込む業務がそれなりにあったため、省力化や正確性の担保にも課題を感じていました。」（森下氏）

経緯

低コストかつ1ライセンスで複数
台使用可能が決め手に

2社で検討し、低コストであること、1ライセンス
で複数台使用が可能な点から導入を決定

以前、基幹システムの省力化を目的として別会社のRPAをトライアルしていたが、社内でRPAの利点が浸透していなかったため、その時は導入を断念していた。

その後も導入の機会を見計らっていたものの、RPAが必要なほど業務が切迫しておらず導入には至らなかった。しかし、電子帳簿保存法の改正により発注書の処理をすべて手作業で行うのは困難だと経理担当者とも話をしたうえで、改めて本格的にRPAの導入検討を実施。

以前トライアルしたRPAとRoboTANGOを比較し、低コストでの導入が可能な点、1ライセンスで複数台使用できる点からRoboTANGOの導入を決めた。

「低コストで導入が可能な点と1ライセンスで複数台のPCで利用できる点が大きかったのですが、実際に営業担当の方に発注書の処理の効率化が可能かどうかを確認し、OKが出たことが最終的な決め手となりました。」（森下氏）

効果

RoboTANGO導入で効率化と正確性の向上を実現
RPA導入後2カ月で24時間/月の作業工数を削減した

同社で自動化を進めた主な業務としては、主に電子帳簿保存法に対応した発注書の処理と、生産管理システムへの登録作業を自動化している。

（1）発注書の処理業務

取引先から送られてくる発注書のPDFファイルを電子帳簿保存法に対応する形で情報を登録してファイルを保存する作業。

多いときで100～150件/月発生しており手作業で行った場合、経理部門が1～2営業日ほど業務時間が増えてしまう。

< RPA導入後 >

すべてを自動化したことで作業工数は一切発生せず、経理部門への影響はなかった。

（2）生産管理システムでの月末処理

毎月月末に生産管理システムで処理をする業務に対して3つの業務を行っている。

1. 投入作業

下着や医療用のガーゼを製造する際に使用する生地を生産管理システムに登録し、生産に進むフローのなかで「在庫を生産用に残す」作業。

2. ロット完了作業

今月生産が完了したものを生産管理システムで処理していく作業です。月に100件以上発生し、数十種類の生産物があるため、種類分の処理が発生していた。

3. シリーズ・シーズン完了作業

シリーズ・シーズンごとに販売終了した際、基幹システムの情報を更新していく作業。シリーズ・シーズンごとの製品は限定なので、生産の際に生地が余ってしまうと廃棄処分する必要がある。

< RPA導入後 >

これら3つの作業は今まで人手で行っており、丸1日（約8時間）かかっていた。しかし自動化によって人の手作業はゼロになったうえ、RPAロボットの作業時間は1時間で完了できている。また、時間的な効率化だけでなく、ミスの削減による正確性の向上を実現した。

「発注書の処理作業に関しては、これまで手作業で行っていた時に比べ、経理部門で1～2営業日は増えてしまうはずだった作業・工数がなくなりました。

また、基幹システムの入力については3つのロボットとVBAの活用によって自動化を成功させました。これによって元々は丸1日（8時間）かかっていた作業が1時間で完了するようになり、時間的な効率化と人の手による入力漏れがなくなり正確性向上を実現しました」（森下氏）



ご担当者様からのメッセージ



RPAに限らず、困った時にどういった解決策があるのか幅広く興味を持ったり、好奇心を持ったりして取り組まれるのがいいのかなと思います。その中でも個人的に、RPAはすごく有益な解決策の1つになるものだと感じています。（森下氏）

毎月発生する経理業務をRPA導入で自動化 2日かかっていた業務を2時間に短縮し、効率化を実現

愛媛県に本社を持ち、主にコットンや不織布の製造を行っている丸三産業株式会社（以下同社）。同社では、DXの推進、業務効率化を掲げ、その一環としてRPAの導入を進めていました。そして、複数のベンダーからトライアル期間を経て開発のしやすさやコストパフォーマンスの良さから、RoboTANGOを選択。経理業務を中心に日々発生する業務の自動化や、これまで2日はかかっていたグループ会社9社の月次試算表作成業務を2時間で完了させるなどし、空いた時間で生産性の高い業務に集中できるようになりました。

BEFORE

- 日々発生する定型業務に追われ生産性の高い業務へ取り組む時間が奪われていた
- DXや業務効率化が上手く進んでいなかった

AFTER

- 日々発生する業務を忘れることなく、確実に実行できるようになった
- 月次試算表の作成時間が短縮され、迅速な経営判断が可能になった

毎日・毎月発生する定型業務

生産性の高い業務に取り組む時間がない



課題

- ✓ 業務効率化の実現
- ✓ DXの推進

必要な対策

- ✓ RPA導入
- ✓ 定型業務の精査

これまで2日かけていた
資料作成が2時間で完了！

現在50個程度のロボットを運用



ロボットが自動作業

- ✓ 時間短縮・ミスの削減
- ✓ 精査や分析時間を多く取れる
- ✓ 生産性の高い業務に集中

RoboTANGO 選択の決め手は？

開発のしやすさ・サポート体制
コストパフォーマンスの良さ

- ▶ 開発の簡単さ・操作実行の正確さ
- ▶ トライアル期間に丸1日つきっきりでサポート
- ▶ 操作を実行したときのスピード感

さらに 他部署でも活路あり！

- ・社内全体で業務効率化を実現
- ・空いた時間で他部署のロボット開発

ロボットが増えて更に効率化UP♪

丸三産業株式会社



【事業内容】コットン・オーガニックコットンを原材料とした衛生資材、衛生製品の開発・製造・販売

【設立】1984年10月27日

【所在地】愛媛県大洲市徳森1349番地

【代表】代表取締役社長 菊池元宏

【WEB】<https://www.marusan-sangyo.co.jp/>

丸三産業株式会社様

課題

定型業務に追われ生産性の
高い業務に取り組む時間がない

業務効率化の実現やDXの推進を
目的とし、RPAの導入を検討

丸三産業株式会社（以下同社）は、化粧綿、綿棒、お茶パックなどの一般向け綿商品の生産、販売、医薬品分野での脱脂綿、清浄綿のほか、コットン100%の不織布「ミラクルコットン」の製造を行っているメーカーである。

DXの推進、業務効率化の実現を代表取締役社長自らが先頭に立ち、企業方針として掲げ、その施策の一つとして、RPA導入はマストとなっていた。

なかでも効率化が喫緊の課題であった経理部門の社員がRPA導入の担当者として任命され、まずは経理部門の定型業務自動化を目的にRPAの選定を始める。

「最初は取引先様からの紹介でRPAを試してみて、そこからRPAの可能性を感じてさまざまな種類があることも知って情報収集を始めました」

「経理部門の自分と情報システム開発部門の社員2人が担当者となり、互いに収集した情報を共有しながら選定を進めていきました」

経緯

トライアル期間でのサポート
体制が選択の決め手に

開発のしやすさとサポート体制、
コストパフォーマンスの良さから導入を決意

2人の担当者は、複数のベンダーから話を聞いたり、資料を集めるなどして情報を精査していくなかで、最終候補としていくつかのRPAに絞り込み、トライアルを行った。

開発のしやすさ、コストパフォーマンスの良さ、そしてサポート体制の確かさなどを中心にチェックを行い、もっともパフォーマンスの良かったRoboTANGOを選定した。

「最終的な選択のポイントは、操作を実行したときのスピード感と開発の簡単さです。また、実際にロボットを動かしたときの正確さが高くエラーがほとんどおきなかったことも非常に良かったです」

「ほかにも、トライアル期間に丸1日つきっきりでサポートしてくれたのもスターティアレイズさんだけだったので、それで信頼できるようになったのも大きかったですね」

効果

毎日、毎月発生する定型業務の
自動化がRPA導入で実現

これまで2日かけていた資料作成が
2時間で完了し、生産性の高い業務へ
取り組む時間が増加

RPA導入後、経理部門の定型業務を自動化するロボットをまず100個作成し、精査をしながら整理を進め、現在では50個程度のロボットを運用している。

もっとも高い効果を発揮したのは、月次試算表の作成に関するもので、これまでは必要な資料を収集するところから手作業で行い、丸2日かかっていたものがわずか2時間で完了するようになった。

自動化を進めることで、自身の業務負担が軽減されたが、それ以上にこれまで作成にかけていた時間を使い、資料の確認や分析を行えるようになったのは大きな成果。迅速な経営判断にもつながるようになった。

「これまで作成にかけていた時間が短縮されたことで、もっとも大きな成果は、残った時間を分析に使えることです。試算表の精査や分析に長い時間をかけられることで、ミスが減ったのはもちろん、お金を産む生産性の高い業務に集中できるようになったのは大きな収穫です」

展望

RPAの効果を広く告知し、
全社での活用を目指す

経理部門中心の活用から広く告知を行い全社で
活用の幅を広げ更なる効率化を目指す

現在、経理部門中心にRoboTANGOを活用していて、ほかの部署ではほとんど活用されていない。まだ、告知も十分にできていないのが大きな課題。

経理部門以外で周囲を見ると、人事労務や製造部門などRPAを活用すれば効率化できる業務がまだまだある。ただ、自分たちの業務をしながらロボットを作成するのは時間の制約もありなかなかスムーズには進まない。

今後は、時間を作ってほかの部署への広報も進めていき、全社的に業務効率化を実現させられるようにしていくことが現在の目標。

「現在は経理業務の自動化が中心ですが、経理業務が効率化されれば、ほかの部署用ロボットの開発にかかる時間も生まれるので、ロボットができていけばいくほど、でき上がるロボットが増えていくといういい連鎖を作っていきたいです」

ヘガネスジャパン株式会社様

DX Suite (AI-OCR) とRoboTANGO (RPA)
の連携活用で人的ミスの軽減を実現

主に鉄粉をスウェーデン本社から輸入して直接販売もしくは加工販売を行っているヘガネスジャパン株式会社（以下同社）。同社では、工場での入出荷業務のほとんどを手作業で行っていましたが、人的ミスによる誤入力の解消が喫緊の課題となっていました。そこで、AI-OCRとRPAを導入・連携させ、業務の自動化を行うことで人的ミスの解消と業務効率化を実現しました。

BEFORE

●工場での入出荷業務において、紙の伝票の読取、データ化、統合基幹システムへの転記のほとんどが手作業のため、人的ミスが増えていた

AFTER

●紙の伝票をAI-OCRで読み取りデータ化し、統合基幹システムへの転記はRPAを連携させ自動化することで人的ミスの解消を実現した

入出荷業務のほとんどを手作業

手作業での人的ミス

複数人でのチェック



- ✓ 紙伝票を目視チェック
- ✓ 手作業でシステムへ転記
- ✓ 入力ミスの増加

- ✓ 複数人でチェックで工数がかかる
- ✓ 人的なミスの解消が喫緊の課題

AI-OCR「DX Suite」と
RPA「RoboTANGO」の連携で
人的ミスの軽減を実現紙伝票を AI-OCR で
読み取りデータ化システムへの転記を
RPA で自動化「DX Suite」で
紙書類の読取後に
Excel データ化「RoboTANGO」の
録画機能を活用して
シナリオを簡単作成

ミスの軽減や業務効率化を実現 !!

導入の決め手

手書き文字の読取精度と
自動化による費用対効果POINT 01 手書きの注文書でも
全く問題なく読み取れる精度POINT 02 読み取ったデータを
システムに転記する作業の自動化

今後の展望



RoboTANGO の活用を広げるため 4 人の従業員
それぞれが積極的に使用している。
本社でも作成したロボを共有し、効率化を図りたい。

ヘガネスジャパン株式会社

Höganäs



【事業内容】粉末冶金用金属粉末の製造・開発・販売

【設立】1797年

【所在地】東京都港区赤坂4-2-19赤坂シャスターストビル

【代表】グループ社長兼CEO Fredrik Emilson

【WEB】<https://www.hoganas.com/ja/>

ヘガネスジャパン株式会社様

課題

毎日発生する入出荷作業で
誤入力が増えていた

入出荷作業のほとんどが手作業で
誤入力トラブルが増加、解決が急務であった

ヘガネスジャパン株式会社（以下同社）は、スウェーデンにある本社から鉄粉を輸入し、直接販売もしくは加工して販売を行っている企業である。

業務の課題となっていたのは、工場での入出荷作業で、紙媒体で来る帳票のデータ化、Excel入力からの統合基幹システムへの入力のほとんどを手作業で行っていた。

人の手を使って行う作業のため、転記、入力ミスといった人的ミスも多く、誤入力によるトラブルが増加し、改善が急務であった。

「件数はそれほど多くはありませんでしたが、毎日発生する作業で、人の手で何重ものチェックを繰り返さなければならず、手間もかかります。ただとにかく誤入力はすぐにでも解消しなければならぬ大きな課題となっていました」（勝俣氏）

効果

AI-OCRとRPAの連携で
人的ミスの解消を実現

AI-OCRとRPAの連携で入力ミスの解消を実現。
録画機能の活用で操作もスムーズに

同社では、紙媒体の読取に「DX Suite」。Excelに転記されたデータを統合基幹システムに入力する作業に「RoboTANGO」を活用。双方を連携させることで、これまで人の手で行ってきた作業のほとんどが自動化され、入力ミスの解消による社員の精神的負担軽減を実現した。

RPA運用の課題として、現場で実際に利用するものが使い方を理解できずに機能が最大限に活用できないケースだ。しかし、同社では、「RoboTANGO」の録画機能を使い、基本の操作を録画機能で録画し、それを現場で利用する社員に見せた。これにより、業務の属人性が生まれず、誰もが簡単に操作できるように。

「導入当初は作業をする社員がスムーズに使えるようになるまで時間がかかるかなと思っていましたが、録画機能を使うことでまったく問題なく運用できるようになりました。

「DX Suite」も導入時に設定をサポートの方から教わったとおりにしたら、すぐに読み込めるようになったので、どちらも心配は無用でした」（勝俣氏）

経緯

費用対効果と読取精度の
高さが導入の決め手

紙媒体の読取精度と自動化による費用対効果の高
さからAI-OCRとRPAの導入を決意

同社では、紙媒体の読取、転記ミス軽減を目的とし、OCRの導入を検討していた。いくつかのOCRを試した結果、webベースで本社を通さずに試せたこと、AI搭載で読み取り精度が高かったことから、AI-OCR「DX Suite」の導入を決定。

さらに「DX Suite」の導入を進めるなかで、RPA「RoboTANGO」を紹介され、Excelでデータ化されたものを統合基幹システムに入力する作業の自動化ができ、さらなるミスの軽減が可能になるとして、「DX Suite」と合わせての導入を決めた。

「OCRはかなり前から導入の検討をしていましたが、なかなか条件が合うものがありませんでした。「DX Suite」導入の決め手になったのは、手書きの注文書でもまったく問題なく読み取れる精度でPDF化できた点です。

また、「RoboTANGO」導入の決め手になったのは費用対効果ですね。以前はソフトのカスタマイズだけで数百万といった見積りもありましたが、弊社の予算内でもっとも高い効果が得られると考え、導入を決めました」（勝俣氏）

展望

今後は工場だけではなく
本社での活用も検討

今後は本社業務でもRPAを使い、
積極的に効率化を進めていきたい

現在、「DX Suite」「RoboTANGO」のどちらも工場で入出荷業務のみでの運用となっているため、今後は他部門や本社でも運用し、業務効率化を進めていくことを目標としている。

「工場では検査結果の入力も自動化を進めていきたいと考えています。また、本社でも工場と同じ受発注業務を行っていますので、今後はそちらにも展開して業務効率化できればいいかなと思っています。

実は工場で導入した際、フローティングライセンスを申し込んでいたので、状況を見つつ、本社でも運用を始めようと考えています」（勝俣氏）

端末依存しないRoboTANGOでセキュリティ面の不安を解消 現場でも活用できる操作性で社内展開を促進！

熊本県に本社を持ち、スチールの家具を中心に全国のオフィスや図書館、博物館などの文化施設へ納入している金剛株式会社（以下同社）。同社では既にRPAツールを導入していたが、プログラミングの知識が必要となる場面があり操作が難しく、ロボ作成に時間がかかる状況だった。そのため契約更新のタイミングにRoboTANGOへとリプレイスを果たした。既存RPAツールではロボットを13個作成していたが、リプレイス後も十分な機能を発揮している。RoboTANGO導入後はフローティングライセンスにより、セキュリティ面での懸念がなくなり、端末固定でなくなったことで社内展開がしやすくなった。今後は社内で勉強会を行い、ロボ開発者を増やし活用の幅を広げていく。

BEFORE

- 既存RPAツールはセキュリティ面で不安が生じていた
- 既存RPAツールではプログラミングの知識が必要になる場面があり、ロボット作成に時間がかかっていた

AFTER

- フローティングライセンスにより、セキュリティ面の不安を解消
- 複数台のPCにインストールできるためRPA開発者の育成がしやすくなり全社展開がしやすくなった
- 操作性が簡単になり、素早くロボ作成が可能に

今まで利用していた RPA ツールは...

操作が難しい

セキュリティ面での不安



- ✓ 情報システム部門と経理部門が運用
- ✓ プログラミング知識が必要な場面があった

- ✓ 今までは端末依存
- ✓ パスワードなど他部署の社員も閲覧可で不安



フローティングライセンスにより
各部署でロボットの管理が可能に

より簡単に
設定ができるように

コスト感や使いやすさが決め手

既存のツールより
低コスト素早い
シナリオ作成フローティング
ライセンス機能セキュリティ面の
不安解消

社内の開発者育成に注力し
業務効率化を加速！

フローティングライセンス機能を活用し
効率化を加速させていく

各部署で RoboTANGO を
使いこなす社員を育成し、
横展開を推進



今後の展望

九州デジタルソリューションズ株式会社に
活用方法などを相談し、自動化業務を増やす



金剛株式会社

【事業内容】 オフィス・文化施設関連設備の製造販売

【設立】 1947年

【所在地】 熊本県熊本市西区上熊本3-8-1

【代表】 代表取締役社長 田中 稔彦

【WEB】 <https://www.kongo-corp.co.jp/>

金剛株式会社様

課題

プログラミング知識が必要な
既存RPAツール操作が難しくロボット作成に
時間がかかってしまうことも

金剛株式会社（以下同社）は1947年に創業し、スチールの家具を中心に製造・販売を行っている。丸ハンドル式の移動棚を主力製品としており、全国のオフィスや図書館、博物館などの文化施設へ納入している実績を持つ。

同社ではもともと別のRPAツールを利用しており、ネットワークチームが社内全体のロボット開発を行い、経理チームが部署内で開発・運用をしていた。ただプログラミングの知識が必要となる場面があり操作が難しく、ロボット作成に時間がかかる状況だった。

「既存RPAツールの契約更新タイミングにRoboTANGOの紹介を受けまして、コスト感や設定の簡易性を含めてリプレイスを検討することになったのです」

また、今までは1つのPC端末で全てのロボを管理していたため、システムへのログインパスワードなど、他部署からも閲覧できる状況があり、セキュリティ面にも不安を抱えていた。

経緯

コスト感や使いやすさが
決め手となりリプレイスロボットの作りやすさを重点的に置いて
RoboTANGOを選択

既存RPAツールのリプレイスのタイミングで海外製RPAツールも含めて検証したが、ロボットの作りやすさを重点に置いて選択していった。

RoboTANGOであれば、ロボット開発者に対してライセンスを分け与えることができるフローティングライセンス機能を持っているので、説明の際に自分のPC環境でロボが動作する様子を見ながら分かりやすく説明でき、育成が容易になった。

この機能によりロボ開発者の育成に活かせることや、操作が簡単だったことなどがRoboTANGO導入の決め手となり、2022年11月にリプレイスを果たした。

「RoboTANGOは、既存のRPAツールより低コストで操作性も簡単だったことも導入を後押ししてくれました」

また、RoboTANGOは操作が簡単であるため、既存RPAツールと比べて素早くシナリオ作成ができるのも導入の決め手となった。

効果

セキュリティ面の不安を解消した
フローティングライセンス複数の端末にインストールでき
各部署で管理できるように

既存のRPAツールは端末依存していたため、1つのPCに利用者がリモートでつないで開発・実行をするという動き方をしていた。

ただそれでは、システムへのログインパスワードを他部署の社員が閲覧できる状況になっていたため、セキュリティ面に不安があった。しかし、RoboTANGOのフローティングライセンス機能により、部署ごとにライセンスを振り分けてロボットを管理できるため、不安を解消することができた。

現在、運用しているロボットは、ネットワークチームで8個、経理チームで5個作成し、社内の定型業務である経理部門の事務作業や販売管理システムや勤怠システムなどと連携した業務を自動化している。

「導入前にトライアルを含めて1か月間、検証しましたが、画面キャプチャーや操作が簡単なことで、ロボット作成が素早くできるようになりました。RoboTANGOは、より簡単に設定できるところが弊社に合っていると思っています」

展望

社内の開発者を育成し
横展開を進めたいフローティングライセンス機能を活用し
効率化を加速させていく

現在、実際に削減されている時間と導入コストを比較すると、まだまだ費用対効果が得られていないのが実情だ。

そこで今後、RoboTANGOで自動化していく業務を広げていきたい。そのために、社内でのRPA操作勉強会を開催。フローティングライセンス機能を活用しながらロボット開発者を増やしていく予定だ。

社内から要望があったものを含め、今後は10～15個程度の業務の自動化が課題として挙がっている。

具体的な業務としては、ホームページからの問い合わせなど、フォームに入力された各データを集計して、それを1つのデータにまとめていく作業の自動化だ、現在では手動で行っている、この作業もRoboTANGOで自動化していきたい。

「これまでネットワークチームが中心となっていたロボット開発ですが、フローティングライセンス機能を活用することで現場の担当者にRPAを広めることができ、ロボットの開発者になれるよう育成に注力し、業務効率化を加速させていきたいです」

白山印刷株式会社様

手厚いサポートが多く、ロボ作成の手助けに
RPA活用により従業員の心にゆとりを生み出した

一般的な印刷物はもちろん、クリアファイルやステッカーなどの特殊な加工技術を用いた環境にやさしい特殊印刷・高付加価値印刷を得意としている白山印刷株式会社（以下同社）では、主に営業部での残業時間が多く、課題となっていた。同社は、残業時間を削減するためにRPAの導入を検討、RoboTANGOの手厚いサポートに魅力を感じ、導入を決めた。導入後は、当初の課題であった残業時間削減はもちろんのこと、従業員の心にゆとりが生まれる効果もあった。将来的には、機械化できる業務で生まれた余力を人でないと出来ない業務に充て、さらに社内にRPAを浸透させていきたいと考えている。

BEFORE

- 営業部での長時間残業が課題
- 事務作業の機械化ツールとしてRPA導入を検討
- 他社RPAはサポート体制に不安あり

AFTER

- 手厚いサポートが多く、ロボ作成の手助けに
- 残業時間が削減され、従業員の心にゆとりが生まれた
- 今後は機械化できる業務で生まれた余力を人でないと出来ない業務に充てたい

営業部で長時間残業が発生
残業時間削減を模索することに



長時間残業
が課題...



- ☑ 事務作業の機械化を検討=RPA
- ☑ サポート体制の信頼性重視

リモレク活用で多くのロボ作成、大幅な作業時間の短縮に成功!!



初期費用も
リーズナブル

※リモレク：zoomを利用して
レクチャーするサポートプラン

効果を
発揮

多数ロボ作成で作業時間短縮に成功
従業員の心に余裕も



機械化で生まれた余裕を『人でないと出来ない業務』に充てていく

機械化が必要な業務のヒアリング、育成計画

白山印刷株式会社

HAXAN®
白山印刷株式会社

【事業内容】印刷業

【設立】1969年6月

【所在地】東京都台東区台東1丁目27番10号 第2成瀬秋葉原ビル3階

【代表】（会長）岡本 優子（社長）小林 剛

【WEB】<https://hakusan-p.co.jp/>

白山印刷株式会社様

課題

営業部で長時間残業が発生
残業時間の削減を模索残業時間削減のために
RPAによる事務作業の機械化を検討

白山印刷株式会社（以下同社）は、一般的な印刷物はもちろん、クリアファイルやステッカーなどの特殊な加工技術を用いた環境にやさしい特殊印刷・高負荷価値印刷を得意としている印刷会社である。

同社では、主に営業部での残業時間が非常に長くなっており、課題となっていた。

営業部では定型業務も多くあったことから、事務作業の機械化できる部分を機械化し、残業時間を削減しようと考えたという。

そこで、RPA導入の検討が始まった。

「2、3年前に顧問の中小企業診断士の方から、RPAの存在は聞いていたので、事務作業の機械化ツールを検討し始めたときから、もうRPA一択でした」（岡本氏）

効果

作業時間の短縮に成功
従業員の心に余裕も多くのロボ作成に成功
様々な業務にロボを活用し、作業を機械化

同社では、RPAを活用して、同社システムの印刷管理ツールをさらに実用的に稼働させている。

印刷管理ツールからは、多様な情報を抽出できるが、そのままでは見にくく、使いこなせない従業員が多かった。現在は、印刷管理ツールから抽出した情報をRoboTANGOでExcelに見やすく加工して活用している。

また、同社では15個とかなり多くのロボ作成に成功した。発送伝票作成用ロボは、ほぼ毎日、売上管理用ロボは、締めのタイミングで毎回使用している。

当初の課題であった残業時間削減にも効果が表れている。中には、今まで2、3時間を要していた作業が10分程度に短縮できた例もある。作業時間短縮により、従業員の心に余裕も生まれたという。

「機械で処理したほうが正確ですし、手間が省けたことで、従業員が仕事に集中しやすくなったと感じています。また、従業員の心に余裕ができて、気持ちよく仕事ができているようです」（山路氏）

経緯

サポート体制が決め手に
ロボ作成にリモレクも活用他社製品はアフターケアが不安
ヘルプセンター＆リモレクが手助けに

同社は、RPA導入にあたって複数のツールを比較した。ただし、他社製品はツール販売とサポートが別会社だったりし、アフターケアに不安があった。

一方で、RoboTANGOのサポート体制は信頼でき、初期費用もリーズナブルだったため、導入を決意したという。

同社では、ヘルプセンター内の「よくある質問」やリモレク（※）を活用して、ロボを作成していった。同社はリモレクを導入した初の企業だが、使い勝手の良さに満足しているとのことだ。特に、言葉で伝わりにくい不明点やエラーをzoomに画面を映して質問することができ便利だという。

「リモレクは、自由に質問できたり、エラーの解消を手伝っていただけたりで、あって良かったなと感じています」（山路氏）

※リモレクという、zoomを利用してRoboTANGOの機能をレクチャーするサポートプラン

展望

機械化で生まれた余裕を
人でないと出来ない業務に充てる機械化が必要な業務のヒアリング実施中
ロボを扱える従業員の育成計画も

同社では、まだまだ機械化できそうな業務が多く残っていると感じている。現在は、他部署でも業務を洗い出し、機械化が必要な業務のヒアリングを実施している。

また、対象となる業務を明確にするためにも、他社のRPA活用事例にも興味を持っているという。

同社では、機械化できる業務をロボに任せることで余力が生まれたら、その余力を人でないと出来ない業務に充てていきたいと考えている。

特に、営業の仕事は機械化できないものが多いため、他業務を機械化した余力で、営業担当者をサポートするのが理想だ。営業の負担が軽くなっていけば、さらにRoboTANGOの魅力が社内に認知されていくと考えている。

また、同社では現在3名の担当者のもとRPA化を推進しているが、将来的には、ロボのメンテナンスや軽度のエラーに対応できる従業員を育成していく計画も立てている。

本資料の掲載内容（画像、文章等）について

本資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、
スターティアレイズ株式会社への事前の許諾なく、
複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます。

※本資料で使用している会社名及び製品名・ロゴマークは、
各社の商号・商標または登録商標です。



スターティアレイズ株式会社

〒163-0919

東京都新宿区西新宿2丁目3-1 新宿モノリス19F

TEL 03-6316-1488 / FAX 03-6316-1489

<https://www.startiaraise.co.jp>



RPAツール「RoboTANGO」

<https://robotango.biz/>

